

Title	『法學研究』既刊總目次一覽：第一卷(大正十一年度)第一號より第二五卷(昭和廿七年度)第一〇號迄
Sub Title	The general list of the contents of "Hogaku Kenkyu" published since the year 1922
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1952
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.25, No.11/12 (1952. 12) ,p.295- 316
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	三十周年記念特別號
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19521215-0295">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19521215-0295</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 『法學研究』既刊總目次一覽

## 第三號

第一卷（大正十一年度）第一號より  
第二五卷（昭和廿七年度）第一〇號迄

### 第一卷（大正十一年度）

#### 第一號

民主政治論

田中萃一郎

同時履行抗辯と履行遲滞との關係

神戸寅次郎

英國會と種族會

占部百太郎

支那國務總理論

及川恒忠

對敵通商禁止に關する英米主義の理論と其變遷

板倉卓造

○自由法運動（西本辰之助）

#### 第二號

英國會の眞意義

占部百太郎

同時履行抗辯と受領遲滞との關係

神戸寅次郎

日本に於ける外國會社の地位

西本辰之助

氏名權論

小池隆一

支那大總統論

及川恒忠

○支那婦人論（細井芳平抄譯） ○ Dos et Donatio propter

Nuptias.（峯岸治三）

海戰の際敵の商船取扱に關する英國主義

板倉卓造

ノルマン國會

占部百太郎

繼父母と繼子

河村讓三郎

勞農露西亞の外交

山崎又次郎

使者の法律上の地位

小池隆一

私犯の性質

峯岸治三

○獨逸共和保護法（西本辰之助）

#### 第四號

再び支那大總統に就て

及川恒忠

續・株式會社發起人論

西本辰之助

社會學者の政治研究

田中萃一郎

貨幣購買力變動の豫測

高城仙次郎

アングロ・サクソン國會

占部百太郎

○民事判例研究（小池隆一） ○新刊紹介 岩野稔著「米國契約

法」（峯岸治三）

### 第二卷（大正十二年度）

#### 第一號

ラアスキイ氏の國家論

田中萃一郎

馬克相場の安定に關し國際委員會の提案を評す

高城仙次郎

民事に於ける法と裁判

西本辰之助

原備契約に関する二三の考察

小池 隆一

モラトリウムの概念と日英俣の實例

相原 文雅

政治學の性質及び範圍

山崎 又次郎

震災善后策の批評

高城 仙次郎

英法に於ける妻の契約上の能力

峯岸 治三

姉妹の爲めにする養子縁組

峯岸 治三

Pacht-System und Hypothek-System Theodor Sternberg

○新刊紹介 岡村司著「民法と社會主義」(小池隆一)

○支那今日の法制(一)(及川恒忠)

第二號

私法の缺陷に就いて

西本辰之助

第一號

支那府院問題に對する一考察

及川 恒忠

各國憲法に於ける上院の地位

山崎 又次郎

公共團體即ち國家の概念

山崎 又次郎

親權濫用に關する二三の考察

小池 隆一

勞働契約の性質

小池 隆一

民法を通じて見たる類推の觀念(二)

淺 井 清

議決權株(一)

西本辰之助

假小屋と火災保險問題

西本辰之助

陪審制度廢すべし

峯岸 治三

Freie Rechtsfindung und unmittelbare Demokratie (I)

Theodor Sternberg

Die Bedeutung der Handelsgesellschaft und der Unterlegung des antiken Welt

Theodor Sternberg

○支那今日の法制(二)(及川恒忠)

○民事判例管見誌(一)

○占部教授の「佛蘭西革命史論」を讀みて(及川恒忠)

○新刊紹介 小池隆一著「法學通論」(峯岸治三)

(峯岸治三)

第三・四合併號

第二號

アングロ・サクソン國會

占部 百太郎

政治思想上憲法發布前

板倉 卓造

犯罪研究の推移

荻野 方之助

消費貸借に於ける借主の返還時期

小池 隆一

契約の解除に就いて

小池 隆一

比例代表法に就いて

山崎 又次郎

民法を通じて見たる類推の觀念(一)

淺 井 清

○民事判例管見誌(二)(峯岸治三)

○民事判例管見誌(一)

議決權株(二・完)

西本辰之助

金解禁の可否

高城 仙次郎

公共團體即ち國家の本質に關する二三の考察

山崎 又次郎

立法の懈怠か裁判の偏狹か  
社會と協働

エールリッヒの權利能力論 (一)

議會制度の不信用と其改革

Freie Rechtsfindung und unmittelbare

Demokratie (2)

第四號

預金部改造に就いて

エールリッヒの權利能力論 (二)

概念の相對性と法律の目的に依る其限界

我民法に於ける各種追認の差異 (一)

○民事判例管見誌 (三) (峯澤淳三)

第四卷 (大正十四年度)

第一號

株式引受の性質に關する學說と批評

エールリッヒの權利能力論 (三・完)

獨占價格に就きて (上)

Die Rechtsanwaltschaft bei dem

Reichsgericht (I)

○支那今日の法制 (三・完) (及川恒忠)

春著「勞働法總論」(小池隆)

西本辰之助

佐原六郎

小池隆一

板倉卓造

Theodor Sternberg

成瀬義春

小池隆一

西本辰之助

相原文雅

第二號

獨占價格に就きて (二・完)

宗教改革期政治學說上のテュードル王制

賃借權の讓渡及び轉賃の制限に就いて

政治學史上のマキアヴェリとホッブス (一)

ベンサムの功利主義的犯罪及び刑罰觀 (一)

我民法に於ける各種追認の差異 (二)

Die Rechtsanwaltschaft bei dem

Reichsgericht (II)

第三號

○新刊紹介

末川博著「民法に於ける特殊問題の研究」第一卷

(小池隆一)

君主神權說

政治的關心

ケルゼンの權力分立論

我民法に於ける各種追認の差異 (三・完)

英法上の合有の觀念に付きて

卸相場對小賣相場變動の一致率

歐洲中世に於ける羅馬法に就いて (一)

古代及び中世に於ける社會契約思想

社團と組合 (一)

高城仙次郎

槇智雄

小池隆一

島田久吉

永澤邦男

相原文雅

Theodor Sternberg

板倉卓造

佐原六郎

堀眞翠

相原文雅

本莊鐵次郎

高城仙次郎

小池隆一

島田久吉

西本辰之助

Theodor Sternberg

○新刊紹介 孫田秀

○新刊紹介 安井英二著「勞働協約法論」(小池隆一)

第五卷 (大正十五年度)

第一號

投資物としての公債株券並に社債の優劣

十九世紀に於ける英國會の改革

アメリカに於ける社會法學の發達

歐洲中世に於ける羅馬法に就いて(二)

パウンドのアメリカ法概論(一)

○民事判例管見誌(四)(峯岸治三)

第二號

豫算難解の理由

社團と組合(二)

歐洲中世に於ける羅馬法に就いて(三・完)

パウンドのアメリカ法概論(二)

獅子の組合

公船の概念について

○英國政治學界近況(潮田江次)

第三號

民事訴訟法改正

金輪解禁の準備

賣買一方の豫約と試験賣買との關係

公衆と公論(政治心理學的考察)

パウンドのアメリカ法概論(三)  
ベンサム功利主義的犯罪及び刑罰觀(二)

第四號

英國憲法の發達と法律家

亂雜違憲の植民地法制

法律生活の安定に就いての考察

パウンドのアメリカ法概論(四)

パウンドの法律と道德(一)

Wahlrecht und Wahlpraxis in

Sowjetrussland

Prof. Dr. Leo Zaitreff

第六卷(昭和二年度)

第一號

初期スチュアート民權論とコンモン法

國家社會學の概念と方法

農村權利争闘の進化

パウンドの法律と道德(二)

第二號

恐慌の導火線

社團と組合(三)

ベンサムの功利主義的犯罪及び刑罰觀(三・完)

パウンドの法律と道德(三・完)

峯岸治三  
永澤邦男

山崎又次郎  
西本辰之助

堀江專一郎  
峯岸治三

前原光雄

成瀬義春  
西本辰之助

小池隆一

峯岸治三

相原文雅

前原光雄

河村讓三郎  
高城仙次郎  
小池隆一  
佐原六郎

榎智雄  
堀眞琴  
相原文雅  
前原光雄  
高城仙次郎  
西本辰之助  
永澤邦男  
前原光雄

Zeitungsverlag und Schriftstellerschutz

Theodor Sternberg

ニールリッヒの「自由なる法律發見及び自由法學」(1)

西本辰之助

第三號

英國現司法制度概觀

社團と組合(四)

國債の法律構成(一)

○故ポール・ヴィノグラドフ教授(峯岸治三・三井義人)

第四號

各國に於ける比例代表法の經驗(一)

維新當時の郡縣思想(一)

國債の法律構成(二・完)

デュギイの主權否認論と國際法(一)

Freie Rechtsfindung und unmittelbare

Demokratie (III)

○新刊紹介 占部百太郎著「英國憲政史」(檜智雄)

第七卷(昭和三年度)

第一號

地租委讓に就いて

各國に於ける比例代表法の經驗(二・完)

社團と組合(五・完)

ロンプロゾの生來犯罪人論

Freie Rechtsfindung und unmittelbare  
Demokratie (IV)

第二號

外交官の Persona grata と agreement に

關する一惡例としてのヒル事件

維新當時の郡縣思想(二・完)

行政の概念の更新

沈黙の效用

Freie Rechtsfindung und unmittelbare

Demokratie (V)

第三號

勞働者と月給取の生活狀態の比較

擔保附社債信託法の不備に就いての小見

獨逸憲法の若干の考察(一)

鑛業抵當論

デュギイの主權否認論と國際法(二)

監獄改良運動の先驅者、ジョン・ハワード(一)

—— 彼れの生涯とその業績 ——

第四號

獨逸憲法の若干の考察(二・完)

Theodor Sternberg

板倉卓造

堀 眞 琴

淺 井 清

相 原文 雅

山崎又次郎

堀 眞 琴

相 原文 雅

前 原 光 雄

Theodor Sternberg

高城仙次郎

栗 栖 越 夫

淺 井 清

栗 栖 越 夫

前 原 光 雄

永 澤 邦 男

成 瀬 義 春

山崎又次郎

西本辰之助

永澤邦男

デュギイの主權否認論と國際法(三・完) 前原 光雄  
エールリッヒの「自由なる法律發見及び自由法學」(二・完) 西本辰之助

Freie Rechtsfindung und unmittelbare Demokratie (VI) Theodor Sternberg

第八卷(昭和四年度)

第一號

エドワード七世が行使した大權の範圍 占部百太郎

獨逸憲法の若干の考察(三・完) 淺 井 清

法律及び契約の權威の頽廢に就いて(一) 小池 隆一

Statute Titles W. Summerfield

第二號

獨逸國民の基本權及基本義務 淺 井 清

政治概念の社會進化史的考察 堀 眞 琴

——ウーノルト政治概念研究——

法律及び契約の權威の頽廢に就いて(二・完) 小池 隆一

商法第二百條社債總額の制限に就いて 栗 栖 越 夫

第三號

純粹法學的國家概念の創設 淺 井 清

平價切下の可否 高城仙次郎

Cornilの私法論(一) 小池 隆一

監獄改良運動の先驅者ジョン・ンワード(二) 永澤 邦 男  
——彼のの生涯と業績——

國際平和思想發達の史的概観(一) 前原 光雄

The Law of Arbitrations and Awards W. Summerfield

第四號

擔保附社債信託法の研究(一) 栗 栖 越 夫

Cornilの私法論(二) 小池 隆一

國際平和思想發達の史的概観(二) 前原 光雄

The Essence of Roman Law Theodor Sternberg

第九卷(昭和五年度)

第一號

商法改正私見(一) 西本辰之助

擔保附社債信託法の研究(二) 栗 栖 越 夫

Cornilの私法論(三・完) 小池 隆一

私法に現れたる豫防觀と解決觀 相 原 文 雅

國際平和思想發達の史的概観(三・完) 前原 光雄

Agents in Insurance Law W. Summerfield

○拙著「憲法總論」に對する宮澤俊義氏の批評に就いて(山崎  
又次郎) ○新刊紹介 フランス學會編「フランスの社會科學」  
(小池隆一)

第二號

無能力者の詐術に就いて 小池 隆一

近代國家

擔保付社債信託法の研究 (三)

堀 眞 琴

日本銀行の法的組織 (一)

(小池隆一)、石田芳穂氏譯「シユタムラー債權法理論」(小池隆一)、フランス私法最近の文獻(小池隆一)

栗 栖 越 夫  
相 原 文 雅

Sale of Goods "With all Faults"

W. Summerfield

第十卷 (昭和六年度)

○新刊紹介 我妻榮著「民法總則」(小池隆一)、鳩山秀夫著「民法研究第二卷(物權)」(小池隆一)、フランス私法最近の文獻(小池隆一)

第一號

第三號

英國に於ける歴史法學

榎 智 雄

第三號

本外務省辨明書(二・完)

板 倉 卓 造

樞密院問題

淺 井 清

イギリス證據法概論(一)

峯 岸 治 三

支那憲法史抄

及 川 恒 忠

近代私法に於ける基礎概念の研究(一)

今 泉 孝 太 郎

シャルモンの私法變遷論の一節(一)

小 池 隆 一

○イギリス法判例雜考(一)(峯岸治三)

○故ロード・パークンハット(峯岸治三)

○新刊紹介 石田文次郎著「現行民法總論」(小池隆一)、フランス私法最近の文獻(小池隆一)

第二號

第四號

擔保付社債信託法の研究(四・完)

栗 栖 越 夫

英國憲法政治の變調

占 部 百 太 郎

日本銀行の法的組織(二・完)

相 原 文 雅

レンテルヌイ捕獲事件に關する當時の日本

ジェレミー・ベンタムと法律學

峯 村 光 郎

外務省辨明書(一)

板 倉 卓 造

○イギリス法判例雜考(二)(峯岸治三)

國民政府の財政方針

及 川 恒 忠

第三號

陪審に關する最近二三の問題

坂 本 英 雄

イギリス證據法概論(二)

峯 岸 治 三

シャルモンの私法變遷論の一節(二・完)

小 池 隆 一

近代私法に於ける基礎概念の研究(二)

今 泉 孝 太 郎

Kernpunkte der Lehre Stammers Theodor Sternberg

イギリス法判例雜考(二)

峯 岸 治 三

○新刊紹介 長場正利譯「ザヴィニー・ティボー法典論議」

第四號



イギリス證據法概論(三)  
國民政府外交部の現組織

峯岸治三  
英 修 道

○憲法行政判例研究(一)(淺井清) ○イギリス裁判例雜考(四)  
(峯岸治三) ○小田切本「日本國憲按」及附屬資料(淺井清)

第十一卷(昭和七年度)

第一號

佛法に於ける事務管理(一)  
自由の正義化

小池隆一  
潮田江次

民法に於ける不作爲の現象學的研究(一) 今泉孝太郎  
○英國議會制度の傳承に關する資料(一)(淺井清) ○イギリス裁判例雜考(五)(峯岸治三) ○The Constitution of Japan, by Dr. N. Matsumami, 1930. (淺井清)

第二號

佛法に於ける事務管理(二・完)

小池隆一

イギリス證據法概論(四)  
民法に於ける不作爲の現象學的研究(二)  
ルドルフ・フン・イェーリングと目的法學

峯岸治三  
今泉孝太郎  
峯村光郎

○英國議會制度の傳承に關する資料(二)(淺井清) ○民事判例研究(小池隆一) ○イギリス裁判例雜考(六)(峯岸治三)

第三號

歐米社債法制と兩法系の對立(一)

栗栖越夫

イギリス證據法概論(五)  
ベルギーに於ける近代行刑制度の發達(一)  
中華民國「不平等條約」逐條研究(一)  
○英米法記事

峯岸治三  
永澤邦男  
英 修 道

第四號

歐米社債法制と兩法系の對立(二)  
ベルギーに於ける近代行刑制度の發達(二・完) 永澤邦男  
民事訴訟法第七十條に所謂裁判の效力の本質を論ず

栗栖越夫  
永澤邦男  
宮崎澄夫

中華民國「不平等條約」逐條研究(二)  
○英米法記事

英 修 道

第十二卷(昭和八年度)

第一號

支那政黨史抄(一) 及川恒忠  
自由民權思想と佛蘭西カルヴァン派の人々(一) 島田久吉  
歐米社債法制と兩法系の對立(三・完) 栗栖越夫  
中華民國「不平等條約」逐條研究(三) 英 修 道  
民法に於ける不作爲の現象學的研究(三) 今泉孝太郎

○文獻紹介 Sowjetunion und Völkerrecht, von Dr. Karl Manzen, 1932. (前原光雄) ○判例 ○英米法記事

第二號

フォクランド島の歸屬問題(一)

支那政黨史抄(二・完)

空戦法規序論(一)

イギリス證據法概論(六)

自由民權思想と佛蘭西カルヴァン派の人々(二) 島田久吉

アントン・メンガアの法曹派社會主義理論 峯村光郎

○最近國際政治情勢 ○法學界事報 ○文獻紹介 ラスキュー著

「危機にある民主政治」(潮田江次) ○判例 ○英米法記事

第三號

準契約に就いて(一)

空戦法規序論(二)

ケルゼンと國家及政治

中華民國「不平等條約」逐條研究(六)

○資料 伊藤本「國憲」及「國憲草案按各議官意見書」(淺井清)、

ベルジックに於ける精神異狀犯罪者並に累犯者に對する社會防

衛法實施二ヶ年の業績に就いて(永澤邦男) ○法學界事報

○最近國際政治情勢 ○文獻紹介 及川恒忠教授撰「支那政治

組織の研究」(島田久吉) ○判例 ○英米法記事

第四號

フォクランド島の歸屬問題(二)

準契約に就て(二・完)

イギリス證據法概論(七)

板倉卓造

及川恒忠

前原光雄

峯岸治三

島田久吉

峯村光郎

ラスキュー著

○判例 ○英米法記事

小池隆一

前原光雄

潮田江次

英 修 道

淺井清)

對する社會防

法學界事報

支那政治

英米法記事

板倉卓造

小池隆一

峯岸治三

法律妥當の本質及根據(一)

フレーザーの呪術師君主論

英法に於ける公信託(Public Trusts)に付て(七)

齋藤壽郎

○資料・買收選舉と米合衆國州憲法の規定について(島田久吉)

○最近國際政治情勢 ○法學界事報 ○文獻紹介 ハーシン

ウ著「英國における保守主義」(一九三三年)(潮田江次) ○

判例 ○英米法記事

第十三卷(昭和九年度)

第一號

フォクランド島の歸屬問題(三・完)

英國初期の土地信託と普通法裁判所

空戦法規序論(三・完)

政治組織の心理學的再檢討

——グラム・ウォルラスに據る一考察——

法律妥當の本質及根據(二・完)

英法に於ける公信託(Public Trust)に付て(中)齋藤壽郎

Stengrecht und Billigkeitsrecht Theodor Sternberg

○資料 張知本氏の「民國憲法起草意見」の解説(及川恒忠)

漢譯「國憲」の發見(淺井清) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹

介 カアル・シュミット「國家、運動、人民」(潮田江次) ○判例

今泉孝太郎

伊藤政寛

齋藤壽郎

島田久吉

ハーシン

ウ著

潮田江次

○判例

昭和九年度

第一號

歸屬問題

土地信託

空戦法規

心理學的

再檢討

グラム・

ウォルラ

Stengrecht

Theodor

張知本氏

漢譯「國

第二號

自由民權思想と佛蘭西カルヴァン派の人々(三) 島田久吉  
千九百三十三年十月の獨逸民事訴訟法の改正に就て

株式會社代表態様の分類と代表者資格證明の方法 宮崎澄夫  
封建君主としてのフランス國王 相原文雅  
英法に於ける公信託(Public Trust)に就て(下・完) 伊藤政寛  
齋藤壽郎

○資料 今日に於けるヘンリー・メーン(峯岸治三) ○最近  
國際政治情勢 ○判例 ○英米法記事

第三號

マキヤベリ「國君論」辯(一) 潮田江次  
露西亞の法律哲學に於ける現象學的傾向 今泉孝太郎  
中華民國「不平等條約」逐條研究(五・完) 英修道  
Les Sources du Droit Civil Français Moderne  
Leon Julliot de la Morandière

○最近國際政治情勢 ○判例

第四號

グロチウスの沿岸領海思想 前原光雄  
マキヤベリ「國君論」辯(二・完) 潮田江次  
「社會行爲」に就て 米山桂三  
——エールウッドに據る研究——

フェルゼナンド・ラッセルの民主主義的法理論 峯村光郎  
○故高城仙次郎博士肖像 ○資料 後の行爲の證據(峯岸治三)  
○最近國際政治情勢 ○判例

第十四卷(昭和十年度)

第一號

改正衆議院議員選舉法 山崎又次郎  
受領遲滞と債權者の受領義務 小池隆一  
イギリス證據法概論(八) 峯岸治三  
海法判例研究(一) 島谷英郎  
アテネのデモクラシー 伊藤政寛

○時論 ザールの國際統治制度終る(前原光雄) ○最近國際  
政治情勢 ○法學界事報 ○文獻紹介 三谷隆正「法律哲學原  
理」(峯村光郎) ○判例 ○本邦英米法文獻目録(慶應義塾英  
米法研究會編)

第二號

委員會政治論 島田久吉  
抵當權從屬性の本質的否定 今泉孝太郎  
Modern Developments in Aviation Law,  
National and International. John H. Wigmore  
○資料 ヘルギーオーグストラテン「ブリッソ・エール」  
を觀る(永澤邦男) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹介 英修道

君著「滿洲國と門戸開放問題」(及川恒忠) ○判例 ○本邦英  
米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会編)

### 第三號

革命の遠兆としての外國旅行(上)

板倉卓造

——(我維新史に就て革命理論上の一考察)——

佛法に於ける契約の解除に就て(一)

小池隆一

イギリス證據法概論(九)

峯岸治三

監獄改良運動家としてのジョン・ハーワードの思想と業績(上)

永澤邦男

法源としての條約

前原光雄

中米運河計畫とパナマに於ける米國の地位

英修道

### 第二號

○最近國際政治情勢

○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義  
塾英米法研究会)

### 第四號

革命の遠兆としての外國旅行(下)

板倉卓造

——(我維新史に就て革命理論上の一考察)——

佛法に於ける契約の解除に就て(二・完)

小池隆一

イギリス證據法概論(一〇)

峯岸治三

「心意の發達」と「目的の進化」

米山桂三

——ホプハウスに據る研究——

戸鞠雅彦

トマス・ホプスの社會契約說(一)

戸鞠雅彦

——(リヴァイアサン)の功利論的性格——

○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義  
塾英米法研究会編)

### 第十五卷(昭和十一年度)

### 第一號

イギリス證據法概論(一一・完)

峯岸治三

所謂「國家外の政治現象」に就いて(上)

潮田江次

近世フランスに於ける王權の擡頭(上)

伊藤政寛

ハムラビ法典(紀元前廿世紀)の階級性

井上芳郎

信託法制の歴史的發達と其の理論(一)

河邊幸吉

○最近國際政治情勢

○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義  
塾英米法研究会)

### 第二號

所謂「國家外の政治現象」に就いて(中)

潮田江次

郡縣思想の發達(一)

淺井清

佛國社債法及新立法

栗栖越夫

債務引受契約と第三者の爲にする契約との異同(一)

相原文雅

○資料 拂波士著「主權論」(明治十六年)(戸鞠雅彦) ○最近

國際政治情勢 ○判例 ○新法令 ○本邦英米法文獻目錄(慶

應義塾英米法研究会)

### 第三號

郡縣思想の發達(二)

淺井清

轉質の法律上の性質及び效果に就いて

所謂「國家外の政治現象」に就いて(下)

一九二七年・南京事件

信託法制の歴史的發達と其理論(二)

本能と政治(一)

シユメル法に現はるる家族制度(一)

○資料 Japanese privaterechtliche Sondergesetzung (Kotaro Imazumi) ○判例研究 代位辨濟と抵當權の移轉

登記・契約解除と返還すべき物件の使用料(小池隆一)、民法第九七三條の意義(峯岸治三) ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

第四號

郡縣思想の發達(三)

シユメル法に現はるる家族制度(二・完)

近世フランスに於ける王權の擡頭(中)

法と強制

債務引受契約と第三者の爲にする契約との異同(二)

淺井清 井上芳郎 伊藤政寛 峯村光郎 相原文雅

○判例研究 同時履行の抗辯權と不當利得・債務履行の引受と第三者の爲めにする契約(小池隆一) ○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

第十六卷(昭和十二年度)

第一號

常設委員會の活動に關する一考察(上)

既判力の主觀的範圍に就て

本能と政治(二・完)

信託法制の歴史的發達と其理論(三)

○資料 イギリス控訴院判決——口頭誹毀事件(峯岸治三)、米國各州法制上に於ける市の分類について(一)(島田久吉)

○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

第二號

政治學の對象について——戸澤教授を駁す(一)

シユメル法と婦人の地位

○資料 獨逸私法學の情勢と任務(今泉孝太郎)、アルヴァレズ「現代國際法の基本的綱領及び大原則の宣言」(前原光雄)

○判例研究 法定地上權の對抗力・不法行爲の損害賠償と治療費(小池隆一) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹介 ホップス著「政治哲學の基礎と生成」(戸鞠雅彦) ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

第三號

郡縣思想の發達(四・完)

政治學の對象について——戸澤教授を駁す(二・完) 政治學の對象について——戸澤教授を駁す(二・完) 信託法制の歴史的發達と其の理論(四)

淺井清 潮田江次 河邊幸吉

○資料 伊藤博文の聽けるスタインの講義(清水伸) ○最近國際政治情勢 ○判例 ○口繪

第四號

常設委員會の活動に關する一考察(下)

版籍奉還と郡縣思想(一)

競賣の結果に於ける土地所有者と建物所有者との權利關係

○資料 米國各州法制上に於ける市の分類について(二・完)

(畠田久吉)、伊藤博文とクナリストとの交渉と博文の聽ける

モツセの憲法講義(清水伸) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹介

グーウ著「社會契約、其發達の批判的研究」(戶鞠雅彦) ○判例

第十七卷(昭和十三年度)

第一號

版籍奉還と郡縣思想(二・完)

滿・蒙・疆と蘇聯邦との國境條約沿革考(一)

リシュリュウの外交政策

○資料 伊藤博文の渡歐・憲法取調の用意と博文の聽けるモツ

セの憲法講義(清水伸) ○最近國際政治情勢 ○判例

第二號

ナチス獨逸に於ける法律制度の統制(一)

ヘラー「國家論の任務」

島田久吉  
淺井清

相原文雅

文獻紹介

淺井清

英修道

松本七郎

今泉孝太郎

松本七郎

○資料 伊藤博文の憲法取調方針と其の理論、附・博文の聽けるモツセの憲法講義(清水伸)、米國に於ける政治學の獨立に關する一資料(関内台) ○最近國際政治情勢 ○判例

第三號

廢藩置縣と郡縣思想(一)

ナチス獨逸に於ける法律制度の統制(二・完)

信託法制の歴史的發達と其の理論(五)

パピロン法の神婦と其の社會的起原

Der Witz in Recht

○最近國際政治情勢 ○判例

第四號

廢藩置縣と郡縣思想(二・完)

イギリスに於ける書證法の改正(二)

マゼランの對外政策

Entwickelung und Krisis des Voelkerrechts

○最近國際政治情勢 ○判例

Theodor Sternberg

第十八卷(昭和十四年度)

第一號

イギリスに於ける書證法の改正(二)

明治二年の官吏選舉

淺井清

今泉孝太郎

河邊幸吉

井上芳郎

Theodor Sternberg

淺井清

峯岸治三

松本七郎

Theodor Sternberg

峯岸治三

淺井清

信託法制の歴史的發達と其の理論(六) 河邊 幸吉

九州帝國大學講師田村豐氏著「英國刑事裁判の研究」を讀む

峯岸治三

シュメル及バビロン法に於ける婚姻  
Der Aufbau des deutschen Fuhrerstaates  
Otto Koellreuter  
井上 芳郎

○市政論研究の發展と其の文獻について(上)(島田久吉) ○判例  
新法令 ○判例

第二號

第四號

土佐派の議會政治論と後藤象二郎 淺井 清

イギリスに於ける書證法の改正(三) 峯岸治三

轉換期に於ける政治的宣傳の研究 米山 桂三

Kritik der Todesstrafe vom Processualistischen Standpunkt.  
Theodor Sternberg

○故神戸寅次郎教授肖像及履歷 ○イギリスに於ける新立法  
(峯岸治三) ○判例研究 市税滞納處分に因る差押登記の適否  
と惡意の第三取得者・株券の差押と民事訴訟法第五百七十一條  
所定の特別處分(宮崎澄夫)、年金受給權の消滅と年金受給代  
理權の消滅・消滅時効完成後既存債務の申出と時効利益の拋棄  
(峯村光郎) ○新法令 ○判例

第十九卷(昭和十五年度)

第一號

イギリスに於ける書證法の改正(五) 峯岸治三  
改正商法に於ける新社債制度 栗栖 勉夫  
「ライユ」(Reich)と「第三ライヒ」について 間崎 万里

島津久光の不平(其三・完) 淺井 清  
佛民法に於ける事情變更の原則に就て(三・完) 小池 隆一

ルイ十四世と歐洲 ○資料 莊内ワツバ事件の一資料(國分剛二) ○判例  
松本七郎

佛民法に於ける事情變更の原則に就て(一) 小池 隆一

イギリスに於ける書證法の改正(四) 峯岸治三

島津久光の不平(其二) 淺井 清

契約理論の變轉 今泉孝太郎

【編者註】當時の出版事情その他の理由で、第十九卷第一號以  
後は休刊の止むなきに至つた。しかし、翌十六年四月には「法

學研究」第一輯という別形式の雜誌を發行した。

法學研究 第一輯（昭和十六年度）

大阪會議と元老院の設立

淺井清

近世私法史（一）

河邊幸吉

ルイ十四世とウイリアム三世の鬭争

松本七郎

○判例

【編者註】 第二輯以後は續刊の運びに至らなかつた。

第二十卷（昭和二十二年度）

第一號

復刊の辭

民法改正に就いて

法の本質的性格について

——法の人間學的考察序説——

第二號

物權の變動について（上）

國際政治に於ける國家の問題

○フランス新刊書目（伊藤政寛）

第三號

一人會社について（一）

物權の變動について（下）

【編者註】 十月に復刊第一號を出版したため、二十二年度は第三號までで終りである。

第二十一卷（昭和二十三年度）

第一號

ネルチンスク條約に就いて

米國證據法の基本的特質（一）

——わが國と比照して——

第二號

現代に於ける行政の特徴

米國證據法の基本的特質（二・完）

——わが國と比照して——

第三號

英國海法の起源

フランク王制

第四號

船舶の敵性に關するフランス主義

——第一次大戰の判例を中心として——

農民の法律性格

中國憲法の基本的諸問題に關する一考察（一）

——一九三三年以降の制憲論争を中心として——

第五號

英 修 道  
伊 東 乾

永 田 一 郎  
伊 東 乾

鳥 谷 英 郎  
伊 藤 政 寛

前 原 光 雄

今 泉 孝 太 郎  
石 川 忠 雄

津 田 利 治  
故 勝 本 文 夫

故 勝 本 文 夫  
内 山 正 熊

小 池 隆 一  
小 池 隆 一  
峯 村 光 郎



政治心理學成立の現代的意義

中村 菊男

中國憲法の基本的諸問題に關する一考察(二・完)

石川 忠雄

——一九三三年以降の制憲論争を中心として——

民法改正の意義(一)

田 中 實

——日本資本主義の發展と身分法——

第六號

アメリカ革命と新聞

生田 正輝

民法改正の意義(二)

田 中 實

——日本資本主義の發展と身分法——

○資料 「大日本教育會」の法典論(手塚豊)

第七號

明治初年の民法草案

手 塚 豊

社會革命期に於ける心理狀態

中 村 菊男

○紹介と批評 エメリー・リヴズ 「平和の解剖學」(内山正

熊)、戦後の商法學界(高島正夫) ○報告 經濟統制法の考え

方(社會法研究會) ○研究發表會記事

第八號

輿論の統計的・狀態的分析

米 山 桂 三

エッケンハイの四段階

伊 東 乾

○紹介と批評 家永正章著「米國の民主政治」(中村菊男)、民

訴法の一書三稿(伊東乾) ○民事法ノート(一)

第九號

法的主體からみた勞働法

峯 村 光 郎

初島の社會調査に關する中間報告(一)

生 田 正 輝

○紹介と批評 森長英三郎著「生産管理と法律問題」(須藤次郎)

○國際問題の展望 ○民事法ノート(二) ○研究發表會記事

第十號

轉換期の外交

内 山 正 熊

民法改正の意義(三・完)

田 中 實

——日本資本主義の發展と身分法——

○國際問題の展望 ○民事法ノート(三)

第十一號

西洋文明の基調精神

藤 原 守 胤

初島の社會調査に關する中間報告(二・完)

生 田 正 輝

○紹介と批評 宮澤俊義著「民主制の本質的性格」(中村菊男)

○民事法ノート(三・續)

第十二號

シャーン法と rule of reason

高 島 正 夫

○記事 「行憲國民大會」紀要(及川恒忠) ○資料 新律綱領

編纂關係者考(手塚豊) ○民事法ノート(四)

第二十二卷(昭和二十四年度)

第一號

一八四二年南京條約について

英 修 道

——本條約條項及び附屬文書内容、治外法權條項に關する研究——

一人會社について(二)

津田 利治

○紹介と批評 戒能通孝著「社會生活と家族法」(田中實、トーマス・ホップス著・戸鞠雅彦譯「リワイアサン」(中村菊男)、千種達夫著「裁判開話」(高島正夫) ○國際問題の展望 ○民法ノート(五)

第二・三合併號

仲裁裁判制度の發達(一)

前原 光雄

擔保物權法の基本問題

今泉 孝太郎

イスラエル民族に於ける王國形成の課題

石 井 良 博

○資料 明治十三年の元老院訴訟法草案(手塚豊・伊東乾) ○紹介と批評 獨禁法違反事件と審決(高島正夫)、潮田江次著「主權と民主政治」(中村菊男) ○國際問題の展望 ○民法ノート(六)

第四號

改正刑事訴訟法に於ける被疑者及び被告人の地位(一)

宮崎 澄 夫

校正律例について

手 塚 豊

○國際問題の展望 ○民法ノート(七)

第五號

長命君主論(一)

伊 藤 政 寬

仲裁裁判制度の發達(二・完)

前原 光雄

○國際問題の展望 ○民法ノート(八・九)

第六・七合併號

産業社會學(Industrial Sociology)

米 山 桂 三

——その成立と發達——

英國航海條例の變遷

島 谷 英 郎

新開倫理の歴史的基礎

生 田 正 輝

——アメリカ新聞史上よりの考察——

○解説 獨占禁止法の改正(高島正夫) ○紹介と批評 藤原守胤著「アメリカ革命史論——アメリカ憲法の背景と原理——」

(伊藤政寬)、蠟山政道著「日本における近代政治學の發達」(中村菊男) ○報告 公共の福祉について——その社會的意義と限界(田中實) ○民法ノート(一〇) 【編者註】 第八號より第十二號までは都合により休刊した。

第二十三卷(昭和二十五年年度)

第一・二・三合併號

條約なき講和(事實上の講和)と條約による講和(一)

芳 賀 四 郎

○解説 商法改正案要綱について(高島正夫) ○紹介と批評 星野通著「民法典論争史」(手塚豊)、市村今朝藏著「英國政黨論」(中村菊男) ○民法ノート(一一・一二)

第四號

條約なき講和(事實上の講和)と條約による講和(二)

クレイトン法と持株會社

第五號

國際主義と世界主義

○資料 フランス第四共和國憲法(原文)(外務省特別資料課)

第六號

婚姻の範疇論

○資料 日本管理資料(外務省特別資料課)

平井新著「共產主義の理論と批判」(中村菊男)、ルース・ベネ  
デイクト著・志村義雄譯「民族—その科學と政治性」(生田正輝)

第七號

不正競争について(一)

ヤハヴィストに於ける歴史的思惟的特質

○解説 第四共和國憲法概観(一)(大山正武)

國是會議乙種憲法草案(石川忠雄)

條約改正と福澤諭吉

法典爭議と福澤の立場

○資料 福澤諭吉の上書——長州再征に關する建白書寫本——

(昆野和七)

第九號

不正競争について(二・完)

○解説 第四共和國憲法概観(二)(大山正武)

第十號

平和條項による爭議行爲の制限  
續・條約改正と福澤諭吉

○解説 第四共和國憲法概観(三・完)(大山正武)

第十一號

國際私法上における相続人の不存在

アメリカに於ける司法權優位制の成立

○資料 日本管理資料(二)(外務省特別資料課)

第十二號

假刑律の一考察

法典編纂と福澤諭吉(一)

○資料 ドイツ連邦共和國基本法譯文と解説(芳賀四郎)

第二十四卷(昭和二十六年度)

第一號

一九三五年度の英國に於ける平和投票

高鳥 正夫

○民事法ノート

内山 正熊

今泉 孝太郎

○紹介と批評

石井 良博

高鳥 正夫

中村 菊男

田 中 實

手塚 豊

中村 菊男

田 中 荊三

久保岩 太郎

檜山 武夫

峯村 光郎

中村 菊男

○資料 中

田 中 荊三

法典編纂と福澤諭吉(一)

中村 菊男

ウエップ・ボメリン法と外國貿易

高島 正夫

○解説 中華人民共和國における政黨及び團體(石川忠雄)

○書評 アメリカ著「憲法諸考」(大山正武) ○報告 前原光雄氏提出學位請求論文審査報告

第二・三合併號

工場に於ける職長の調査(一)

生山 桂三  
田正 輝

——職長の地位(STATUS)及び役割(Roles)に關する産業社會學的研究——

第六號

ヘブライ民族に於ける國家觀の變遷に就いて

石井 良博

法典編纂と福澤諭吉(二)

中村 菊男

法典編纂と福澤諭吉(五・完)

中村 菊男

○資料 國際連合總會國際法委員會發行「ニュールンベルグ裁判所條例及び判決—歴史と分析」(全譯)、ドイツ民主主義共和國(東獨)憲法(譯文と解説)(芳賀四郎)、日本管理資料(三)(外務省特別資料課)

第七號

船舶の性質決定に關するフランス主義の研究(一)前原光雄 勞働協約における「署名」の意義 清水 新

第四號

津田 利治

○資料 フランス共和國憲法(譯文)(芳賀四郎) ○紹介と批評 キングスレイ・デイビス著「人間社會」(生田正輝) ○フランス第四共和國憲法原文(二三卷五號所載) 正誤表

清水 新

改正株式會社法總評

津田 利治

法典編纂と福澤諭吉(四)

中村 菊男

第八號

刑法局格例調考

○時事問題 歴史的隣間(西澤英一) ○資料 最近の米國雜誌に現われたソ聯邦研究について(一)(中澤精次郎) ○研究發表會記事

仙臺藩刑法の一研究

手塚 豊

第五號

伊藤 政寛

船舶の性質決定に關するフランス主義の研究(二・完)

エドワード三世の治世とウィクリフの政治思想 伊藤 政寛  
——長命君主論(一)——

○資料 代表訴訟に關する解釋上の諸問題(高島正夫) ○紹介

前原 光雄

と批評 エルンスト・ザウアー著「國際法原理」(前原光雄)、  
H・G・ハンブリー著「イギリスの裁判所」(平良)

第九・十號合併號(林毅陸先生追憶記念號)

林先生肖像・略歴・主要著作目錄

明治史に於ける政争と皇室

英國名の變貌

——エンパイアからコモンウェルスへ——

一八七四年臺灣審社事件

米國における参政權民主化の運動

大正政變と林毅陸

清末及び民國初年に於ける連邦論と省制論

○資料 毛澤東の「實踐論」(及川恒忠)

第十一號

一子相續制の研究

——均分相續制の批判——

ロシア史の時代區分に關する一試案(一)

——七世紀後半より一七世紀初頭まで——

○資料 一九四二年伊太利民法典中の國際私法的規定(須藤次郎)

○紹介と批評「福澤諭吉選集」第一卷第二卷第三卷(中村菊男)、J・L・ブライアリ著「國際法——平時國際法入門」(中村洗)

蠟山政道著「比較政治機構論」(多田眞鋤)、原龍之助著「地方行政改革の基本問題」(金子芳雄)

板倉卓造  
間崎万里

英 修 道

藤原守胤

中村菊男

石川忠雄

今泉孝太郎

中澤精次郎

第十二號

工場診斷

——工員の志氣の診斷——

ロシア史の時代區分に關する一試案(二・完) 中澤精次郎

——七世紀後半より一七世紀初頭まで——

○資料 新株引受權について(高島正夫) ○紹介と批評 フィ

ールド著「プラトンとその同時代者達」紀元前四世紀に於ける生活と思想の研究——(石井良博)、ロバート・K・メルトン

編「社會學的分析」(生田正輝)、マルセル・ワリン著「個人主義と法」(大山正武)

エリザベス女王の治世とフリーカーの政治思想(一) 伊藤政寛

——長命君主論(三)——

第二十五卷(昭和二十七年年度)

第一號

アメリカに於ける司法權優位制の研究 榎山武夫

——司法權優位制の確立——

○資料 中國共產黨に關する資料(及川恒忠)、最近のドイツ勞働立法に於ける「一般的拘束力宣言」(正田彬) ○紹介と批評

佐野學著「共產主義戰争論」(中村菊男)、黎乃瀨著「辛亥革命與袁世凱」(石川忠雄)、大濱信泉著「改正會社法概論」(米津和子)

第二號

公共企業勞働法の理論

峯村光郎

——勞働法における公共企業概念について——  
判例法における「法」の發見 平 良

——グッドハートの所説を中心として——

○資料 エ斯巴ニヤ國基本法(試譯)(一)(大山正武) ○紹介と批評 ミツチエル・ウエンデル著「連邦裁判所と州裁判所との關係」(平良)、蟻山政道氏他數氏著「近代國家論」第一部權力(多田眞鋤) ○研究發表會記事

第三號

明治初年の和歌山藩刑法

手塚 豊

——「徒刑之法」及び「刑法内則」を中心として——

第二次護憲運動の意義

中村 菊男

○資料 エ斯巴ニヤ國基本法(二・完)(大山正武) ○紹介と批評 日本法哲學會編「私法の理論」家族・財産・企業(田中實)、R・クロス、P・A・ジョーンズ共著「刑法入門」「刑法判例集」(中谷瑾子)、松田二郎著「會社法概論」(米津昭子)

第四號

アメリカの移民政策(一)

藤原守胤

新株引受權に關する若干の問題

高鳥正夫

○資料 ハンキー卿の戰爭責任論—連合國の無條件降伏政策と戰爭裁判の批判—(一)(内山正熊) ○紹介と批評 アンドレ・エ・ルウアス、ポール・デュアラン共著「産業立法提要」(阿久

澤龜夫、關嘉彦著「英國社會主義—勞働黨の理論家たち」(中村菊男)、H・ヘルフリッツ著「一般國法學」(多田眞鋤)

第五號

アメリカの移民政策(二)

藤原守胤

○資料 エジプト國籍法(一九五〇年九月一八日法律第百六〇號)(須藤次郎)、ハンキー卿の戰爭責任論—連合國の無條件降伏政策と戰爭裁判の批判—(二・完)(内山正熊)、日本管理資料(五) ○紹介と批評 ロスコオ・パウソド著「法の新しい路」(大山正武)

第六號

民事訴訟における眞實義務

伊東 乾

國民革命とフランコ憲法

大山正武

勞働協約の「地域的拘束力」について

正田 彬

○紹介と批評 ジェイムズ著「イギリス法入門」(平良) ○研究会記事

第七號

使用者の爭議行爲

峯村光郎

——ロックアウトの法理——

反致論に關する一考察

須藤次郎

○資料 日本管理資料(五の續き・完) ○紹介と批評 矢部貞治編著「近衛文磨」(中村菊男)、シエンケ著「權利保護の必要」(伊東乾)、H・ラウターパハト著「國際法と人權」(中村洗)

第八號

人工授精とその法律問題

小池 隆 一

家族の法理からみた「人工授精」の問題

田 中 實

——「人工授精」における合理性と不合理性——

人工授精に關する法律上の若干問題

須 藤 次 郎

○紹介と批評 關根正雄著「イスラエル宗教文化史」(石井良博)、ピエール・デュクロ著「一七五〇年以後の政治關係の發達」

(大山正武) ○研究會記事

第九號

紛争の解決と具體法

伊 東 乾

アメリカに於ける司法權優位制の研究

檜 山 武 夫

第三部 司法權優位制の役割

○資料 ドナウ河の航行制度(前原光雄) ○紹介と批評 ルフ  
ニール著・鈴木泰平譯「フランス革命」(八九年)〔伊藤政寛〕、  
T・H・グリーン著・北岡勳譯「政治義務の原理」(多田眞鍮)

第十號

民法典論争の性格

中 村 菊 男

株式の自由讓渡性

高 鳥 正 夫

○資料 ドイツ民主主義共和國(東獨)憲法原文 ○紹介と批評  
青山道夫著「近代家族法の研究」(田中實)、ラルフ・リン  
トン著・清水幾太郎、犬養康彦譯「文化人類學」(生田正輝)

(手 塚 豊)